



令和3年11月12日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第二部)
 問合せ先 財務経理部長 堀内 治芳
 (TEL. 03-6451-4300)

令和4年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社では、令和3年5月14日に公表いたしました令和4年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

これに加え、最近の業績動向を踏まえ、令和3年5月14日に公表いたしました令和4年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値と連結実績値との差異
 (令和3年4月1日～令和3年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益	包括利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,687	百万円 203	百万円 145	百万円 △24	円 銭 △0.21	百万円 2
今回実績値 (B)	8,265	△24	△114	△180	△1.54	△179
増減額 (B-A)	578	△227	△259	△156	△1.33	△181
増減率 (%)	7.5	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (令和3年3月期第2四半期)	5,325	△172	△245	△283	△2.42	△288

2. 令和4年3月期通期連結業績予想数値の修正 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	包括利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,793	百万円 1,209	百万円 1,092	百万円 484	円 銭 4.14	百万円 583
今回修正予想 (B)	19,372	981	832	329	2.81	402
増減額 (B-A)	579	△227	△259	△154	△1.33	△180
増減率 (%)	3.1	△18.8	△23.8	△32.0	△32.2	△31.0
(ご参考) 前期実績 (令和3年3月期)	12,606	△352	△712	△716	△6.13	△772

3. 第2四半期連結累計期間における差異発生 の主な理由

売上高につきましては当社グループ根幹会社である株式会社大黒屋（以下、「大黒屋」という。）において店舗売上等の大幅な増加により改善し前年同期比 2,930 百万円増となりました。

一方、半期売上高増加に伴う規模の利益の拡大で前年対比売上総利益は 331 百万円増加しました。大黒屋は不透明なコロナ下の状況で、在庫回転率を早めることにより、粗利益率を抑えつつ、相場変動のリスクを回避しつつ、売上総利益の限界逡増値の最大化を求めた結果、同社での粗利率は計画値を下回る事となりました。

粗利率の逡減により計画値の売上総利益を確保出来なかった事に伴い営業利益、経常利益、四半期純利益及び包括利益は期初予想を下回る結果となりました。

4. 通期連結業績予想の修正理由

国内においては、本年 9 月末をもって緊急事態宣言が解除され、10 月以降の大幅な感染者数が激減した結果、人の往来が増え、渡航制限も更に緩和された事から国内での利幅の取れるリアル店舗での個人顧客による需要が見込める事と上期落ち込んでいたネット販売（越境 EC、ライブショッピングを含む。）を底上げ強化する事で上記、第2四半期連結累計期間における連結業績予想値と連結実績値との差異を踏まえ、売上高以下を修正しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上